12日(土)

全体シンポジウム（13:00〜16:00）

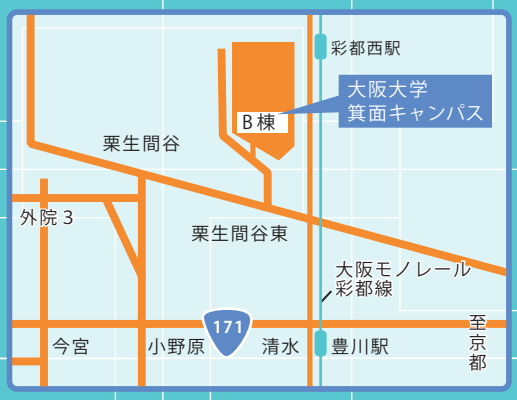
テーマ：生存権と社会文化　司会：林美輝（奈良教育大学）

報告１：「生存と労働をめぐる対立―障害者ヘルパーの立場から―」
渡邉琢（かりん燈〜万人の所得保障を目指す介助者の会、ベーシック・インカム要求者組合）
報告２：「社会文化に権利を埋めこむ―生存権保障の一視点―」
中西新太郎（横浜市立大学）
コメンテーター：石倉康次（立命館大学）・小林清治（大阪大学）

総会（16:00〜17:30）

懇親会（18:30 〜 21：00）

北大阪急行「千里中央駅」付近にて（当日案内）



アクセス

■ 大阪モノレール
彩都西駅下車　西へ徒歩　約１５分
■ 阪急バス
千里中央停留所発、北千里停留所発ともに
「阪大外語学部前行」に乗車、「阪大外語学部前」下車
「間谷住宅行」に乗車、「間谷住宅４」下車

13日(日)

自由論題（9:30〜11:30）

セッション１
報告１：「市民的行政経営論の構築は可能か」　三宅正伸（大阪商業大学大学院）
報告２：「施設コンフリクト発生における地域の社会的要因に関する一考察 ―施設と地域との関係性に関する調査結果から―」
野村恭代（大阪大学大学院）
報告３：「『女性の貧困』の問題化における諸問題と展望」　村上潔（日本学術振興会特別研究員）
セッション２
報告１：「東ドイツの文化政策と映画音楽」　高岡智子（甲南大学）
報告２：「M. フーコーにおける『統治性』と『主体』」　藤田博文（立命館大学）
報告３：「Z. バウマンにおける現代社会認識」　吉田正岳（大阪学院大学）

サブシンポジウム（12:30〜15:00）

テーマ：メディアと権力

司会：大関雅弘（四天王寺大学）
報告１：「ジェンダーからみたメディア」　熊谷滋子（静岡大学）
報告２：「メディアと世論調査―ファシスト的公共性の視点から―」　佐藤卓己（京都大学）

課題研究（15:30〜17:30）

テーマ：社会文化活動の実践と課題

司会：日暮雅夫（立命館大学）
報告１：「京都自由大学の試み―開かれた学びの場を目指して―」　藤田悟（京都自由大学事務局長）
報告２：「メディアとしての映画館―地域社会におけるその役割―」　神谷雅子（立命館大学　京都シネマ代表）

参加費

一般：1,500 円
学生・院生：1,000 円
一企画参加：　500 円

社会文化学会

日時：2009 年 12 月 12 日(土)〜 13 日(日)

場所：大阪大学箕面キャンパス（旧・大阪外語大学）B 棟

※大会当日、大学内及び近隣で利用可能なコンビニ・食堂等はありませんので、昼食は各自ご用意下さい。

第 12 回 全国大会

全体テーマ：生存権と社会文化

実行委員長　小林清治　　事務局担当　大関雅弘
問い合わせ先　〒562-8558　大阪府箕面市粟生間谷東 8 丁目 1-1　大阪大学大学院人間科学研究科　小林清治研究室
072-730-5400（小林研究室）　west@japansocio-culture.com（第 12 回全国大会実行委員会・事務局）